

4 - (2) 令和5年度供試系統の来歴及び特性の概要

○ 関東161号 (令和5年度新規)

1. 来歴

- 1) 系統名 関東161号 (旧系統名 中系1)
- 2) 交配組合せ 関東148号 × 関東121号
- 3) 用途 青果用

2. 特性の概要

1) 主な特性

萌芽性は良。いもの皮色は紫赤、肉色は黄である。いもの形状は楕円形で、大小は大である。条溝は少、裂開、皮脈は無で、外観は中である。上いも重は、マルチ早掘栽培とマルチ標準栽培ともに「ベニアズマ」より多収である。蒸しいもの肉色は淡黄で、肉質はやや粉～粉、黒変は中～やや多、食味は中である。病虫害抵抗性は、ネコブセンチュウに強、立枯病に中、つる割病にやや強である。貯蔵性は難である。本系統は、黄肉・粉質系で多収であり、複合病虫害抵抗性であることから、青果用かんしょとして有望である。

2) 育成地における栽培試験成績 (令和4年度)

① マルチ標準栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重 (kg/a)	対標準比 (%)	上いも1個重 (g)	1株上いも数	切干歩合 (%)	いも			蒸しいも				
						外観	皮色	形状	肉色	肉質	Brix	黒変	食味
関東161号	540	160	413	3.3	34.6	中	濃赤紫	楕円	淡黄	粉	16.0	中	中
標) ベニアズマ	339	100	269	3.1	35.4	中	濃赤紫	長方形	淡黄	粉	15.2	やや多	中～やや上
比) 高系14号	337	99	244	3.5	31.6	中	赤紫	楕円	淡黄白	中	12.0	中	中

② マルチ早掘栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重 (kg/a)	対標準比 (%)	上いも1個重 (g)	1株上いも数	切干歩合 (%)	いも			蒸しいも				
						外観	皮色	形状	肉色	肉質	Brix	黒変	食味
関東161号	303	124	175	4.3	34.9	中～やや上	濃赤紫	楕円	黄	やや粉	16.4	やや多	中
標) ベニアズマ	243	100	244	2.5	35.0	中	濃赤紫	長方形	淡黄	粉	12.8	中	中
比) 高系14号	207	85	160	3.2	30.6	中	赤紫	楕円	黄白	中	13.2	中	中

③ 萌芽性、貯蔵性および病虫害抵抗性

品種・系統名	育成地		病虫害抵抗性 (育成地)			
	萌芽性	貯蔵性 (R3)	ネコブセンチュウ		立枯病 (香取)	つる割病
			場内 (谷和原)	現地 (香取)		
関東161号	良	難	強	強	中	やや強
標) ベニアズマ	やや良	難	中	中	やや強	やや弱
比) 高系14号	中	難	やや弱	やや弱	弱	中

○ 関東162号 (令和5年度新規)

1. 来歴

- 1) 系統名 関東162号 (旧系統名 中系2)
- 2) 交配組合せ 作11136-74 × 九州186号
- 3) 用途 青果用

2. 特性の概要

1) 主な特性

萌芽性はやや良～良。いもの皮色は赤紫、肉色は黄である。いもの形状は楕円形で、大小は中である。条溝は微、裂開、皮脈は無で、外観はやや上である。上いも重は、マルチ早掘栽培とマルチ標準栽培ともに「ベニアズマ」より多収である。蒸しいもの肉色は淡黄で、肉質はやや粉、黒変はやや少、食味は中～やや上である。病虫害抵抗性は、ネコブセンチュウに中、立枯病にやや弱、つる割病にやや強である。貯蔵性は易である。本系統は、多収であり、基腐病への抵抗性が期待されることから、青果用かんしょとして有望である。

2) 育成地における栽培試験成績 (令和4年度)

①マルチ標準栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重 (kg/a)	対標準比 (%)	上いも1個重 (g)	1株上いも数	切干歩合 (%)	いも			蒸しいも				
						外観	皮色	形状	肉色	肉質	Brix	黒変	食味
関東162号	605	179	238	6.4	33.4	やや上	赤紫	楕円	淡黄	やや粉	12.4	やや少	中～やや上
標) ベニアズマ	339	100	269	3.1	35.4	中	濃赤紫	長方形	淡黄	粉	15.2	やや多	中～やや上
比) 高系14号	337	99	244	3.5	31.6	中	赤紫	楕円	淡黄白	中	12.0	中	中

②マルチ早掘栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重 (kg/a)	対標準比 (%)	上いも1個重 (g)	1株上いも数	切干歩合 (%)	いも			蒸しいも				
						外観	皮色	形状	肉色	肉質	Brix	黒変	食味
関東162号	341	140	148	5.8	32.4	やや上	赤紫	楕円	黄	中	18.0	中	中～やや上
標) ベニアズマ	243	100	244	2.5	35.0	中	濃赤紫	長方形	淡黄	粉	12.8	中	中
比) 高系14号	207	85	160	3.2	30.6	中	赤紫	楕円	黄白	中	13.2	中	中

③萌芽性、貯蔵性および病虫害抵抗性

品種・系統名	育成地		病虫害抵抗性 (育成地)			
	萌芽性	貯蔵性 (R3)	ネコブセンチュウ		立枯病 (香取)	つる割病
			場内 (谷和原)	現地 (香取)		
関東162号	やや良～良	易	中	強	やや弱	やや強
標) ベニアズマ	やや良	難	中	中	やや強	やや弱
比) 高系14号	中	難	やや弱	やや弱	弱	中

4 - (2) 供試系統の来歴及び特性概要

○ 関東160号 (令和4年度新規)

1. 来歴

- 1) 系統名 関東160号 (旧系統名 作系73)
- 2) 交配組合せ 関東145号 × アヤコマチ
- 3) 用途 青果用



ベニアズマ 関東160号 アヤコマチ

図 蒸しいもの断面

2. 特性の概要

1) 主な特性

萌芽性はやや良。いもの皮色は赤紫、肉色は黄橙である。いもの形状は楕円形で、大小は大である。条溝は少、裂開は微、皮脈は無で、外観は中である。上いも重は、マルチ早掘栽培とマルチ標準栽培ともに「ベニアズマ」より多収である。蒸しいもの肉色は淡黄橙～淡橙で、肉質はやや粉、黒変は少～やや少、食味は中～やや上である。病虫害抵抗性は、ネコブセンチュウにやや強～強、立枯病およびつる割病にやや弱である。貯蔵性は中である。橙肉系かんしょは肉質が粘質になりやすい傾向があるが、本系統の肉質はやや粉である。本系統は、多収であり、いもの肉色と肉質に特徴があることから、青果用かんしょとして有望である。

2) 育成地における栽培試験成績 (令和3年度)

① マルチ標準栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重 (kg/a)	対標準比 (%)	上いも1個重 (g)	1株上いも数	切干歩合 (%)	いも			蒸しいも				
						外観	皮色	形状	肉色	肉質	Brix	黒変	食味
関東160号	430	147	283	3.8	34.7	中	赤紫	楕円	淡橙	やや粉	20.4	少	中～やや上
標) ベニアズマ	292	100	270	2.7	35.0	中	紫赤	長方形	黄	やや粉	19.6	やや多	中～やや上
比) アヤコマチ	293	100	187	3.9	28.8	中	赤	楕円	橙	粘	19.6	少	中～やや上

② マルチ早掘栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重 (kg/a)	対標準比 (%)	上いも1個重 (g)	1株上いも数	切干歩合 (%)	いも			蒸しいも				
						外観	皮色	形状	肉色	肉質	Brix	黒変	食味
関東160号	302	134	185	4.1	34.0	中	赤紫	楕円	淡黄橙	やや粉	21.1	やや少	やや上
標) ベニアズマ	225	100	180	3.2	34.2	中	紫赤	長方形	黄	やや粉	17.2	やや多	やや上
比) アヤコマチ	202	90	133	3.8	29.7	中	赤紫	楕円	淡橙	やや粘	16.0	中	中

③ 萌芽性、貯蔵性および病虫害抵抗性

品種・系統名	育成地		病虫害抵抗性 (育成地)			
	萌芽性	貯蔵性 (R2)	ネコブセンチュウ		立枯病 (香取)	つる割病
			場内 (谷和原)	現地 (香取)		
関東160号	やや良	中	やや強	強	やや弱	やや弱
標) ベニアズマ	やや不良	難	中	中	やや強	やや弱
比) アヤコマチ	中～やや良	中	強	やや強	やや弱	やや強

○ 関東150号 (平成30年令和元年度実施 令和4年度再試験)

1. 来歴

- 1) 系統名 関東150号 (旧系統名 作系57)
- 2) 交配組合せ 関東113号 × 谷系30
- 3) 用途 青果など

2. 特性の概要

1) 主な特性

萌芽性は良、いもの皮色は赤紫、肉色は黄である。いもの形状は楕円形、揃いはやや整である。条溝、裂開、皮脈は無で、外観はやや上である。上いも重はマルチ早掘栽培、マルチ標準栽培ともに「ベニアズマ」より3割以上多収である。蒸しいもの肉色は黄で、肉質はやや粘～やや粉、調理後の黒変はやや少～中、食味はやや上である。病虫害抵抗性は、サツマイモネコブセンチュウに強～やや強、立枯病にやや弱、つる割れ病にやや強、黒斑病にやや強(単年度)である。貯蔵性は易である。本系統は、いもの外観が良く多収で、病虫害抵抗性に優れ、良食味であることから、青果用かんしょとして有望である。

2) 育成地における栽培試験成績(平成29年度)

① マルチ標準栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重(kg/a)	対標準比(%)	上いも1個重(g)	1株上いも数	切干歩合(%)	いも			蒸しいも				
						外観	皮色	形状	肉色	肉質	Brix	黒変	食味
関東150号	419	173	210	5.0	35.0	やや上	赤紫	楕円	黄	やや粘	21.2	やや少	やや上
標)ベニアズマ	243	100	204	3.0	34.7	中	紫赤	長方	黄	粉	14.0	中	やや上
比)高系14号	296	122	268	2.8	33.7	中	赤紫	楕円	淡黄	中	17.6	やや少	中

② マルチ早掘栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重(kg/a)	対標準比(%)	上いも1個重(g)	1株上いも数	切干歩合(%)	いも			蒸しいも				
						外観	皮色	形状	肉色	肉質	Brix	黒変	食味
関東150号	300	139	175	4.3	36.5	中	赤紫	楕円	黄	やや粉	21.2	中	やや上
標)ベニアズマ	216	100	230	2.4	35.6	中	紫赤	長方	黄	やや粉	18.4	中	やや上
比)高系14号	204	94	201	2.5	32.6	中	赤紫	楕円	淡黄	中	19.2	中	中

③ 萌芽性、貯蔵性および病虫害抵抗性

品種・系統名	育成地		病虫害抵抗性(育成地)				
	萌芽性	貯蔵性(H28)	ネコブセンチュウ		立枯病(香取)	つる割れ病	黒斑病
			場内(谷和原)	現地(香取)			
関東150号	良	易	強	やや強	やや弱	やや強	やや強
ベニアズマ	中	難	中	中	やや強	中	中
高系14号	中	易	やや弱	やや弱	弱	やや強	中

○九系 377 (令和 5 年度新規)

1. 来歴

1) 系統名 九系 16219-9

2) 交配組合せ

九系 329(母) × コガネセンガン(父)

2016 年交配、2017 年以降、選抜および育成

3) 用途 でん粉・焼酎原料用

2. 特性の概要

1) いもの形状は楕円形で、皮色は黄白、肉色は黄白、条溝と裂開は少なく、皮脈は無い。いもの外観はやや上である。

2) 上いも重は、コガネセンガン並みで、切干歩合及びでん粉歩留りはコガネセンガンより高い。

3) 基腐病抵抗性はやや強と期待され、サツマイモネコブセンチュウ抵抗性は中、サツマイモネグサレセンチュウ抵抗性は弱である。

4) 蒸しいもの肉色は淡黄白、食味はやや上である。

生産力検定予備試験における選抜系統の特性

系統名	上いも重 (kg/a)	同標 準比 (%)	切干 歩合 (%)	でん粉 歩留り (%)	でん粉 重 (kg/a)	上いも 1個重 (g)	いもの 皮色	センチュウ 抵抗性		基腐病 抵抗性	萌 芽 性	貯 蔵 性	蒸しいも				でん粉 白度	
								ネコブ	ネグサレ				肉 色	肉 質	纖 維	食 味		総 合
九系377	415	102	40.1	27.6	115	270	黄白	中	弱	(やや強)	やや良	中	淡黄白	やや粉	中	やや上	中	89.8
コガネセンガン	405	100	35.8	23.0	93	258	黄白	弱	弱	やや弱	やや良	やや難	黄白	中	中	中	中	90.1
ソコユカ	367	90	36.7	24.8	91	268	白(桃)	やや強	中	中	やや良	やや難	白	やや粉	やや少	中	中	90.4
こないしん	475	117	36.8	25.3	120	272	茶橙	やや強	やや強	やや強	中	やや易	淡黄白	やや粉	中	やや下	中	92.0

基腐病抵抗性の括弧は評価個体数が少ないため暫定的な評価である

○九系 378(令和 5 年度新規)

1. 来歴

- 1) 系統名 九系 378、九系 18120-9
- 2) 交配組合せ
九系 341(母)×春こがね(父)
2018 年交配、2019 年以降、選抜および育成
- 3) 用途 食用、焼酎原料用

2. 特性の概要

- 1) いもの皮色は赤紅で、いもの外観は中である。
- 2) 上いも重は高系 14 号比で標準栽培 220%である。
- 3) サツマイモネコブセンチュウ、ミナミネグサレセンチュウ、サツマイモ基腐病に強い。
- 4) 蒸しいもの肉色は橙、黒変程度はやや少であり、食味はやや上である。

生産力検定予備試験における選抜系統の特性

系統名	上いも重 (kg/a)	同標準比 (%)	切干歩合 (%)	切干重 (kg/a)	同標準比 (%)	圃場判定	いもの外観	いもの皮色	センチュウ抵抗性			基腐病抵抗性	萌芽性	貯蔵性	蒸しいも					
									ネコブ	ネグサレ	サレ				肉色	肉質	繊維	総合	Brix (%)	黒変
九系378	364	220	34.4	125	249	やや良	中	赤紅	強	強	強	不良	中	橙	やや粘	やや少	やや良	21.6	中	やや上
高系14号	166	100	30.4	50	100	中	中	淡赤	やや弱	中	やや弱	やや不良	中	黄白	中	やや少	中	11.6	やや少	中(標準)
べにはるか	297	179	37.6	112	222	やや良	やや上	赤紫	強	やや弱	弱	やや良	易	淡黄	中	中	やや良	28.7	中	やや上
コガネセンカン	318	192	36.1	115	229	やや良	中	黄白	やや弱	弱	やや弱	中	中	淡黄白	やや粉	やや少	中	18.0	やや多	—
アヤコマチ	254	153	28.1	71	141	やや良	やや上	赤紫	やや強	やや強	(やや弱)	やや良	中	橙	やや粘	中	中	16.4	中	中(標準)

備考) サツマイモ基腐病抵抗性において過年度の評価は括弧で囲った。

備考) 蒸しいもBrix(%)は換算値。食味判定は18~24名のパネラーにより行った。

○九州 203 号（令和 4 年度新規）

1. 来歴

- 1) 系統名 九系 368、九系 15201-8
- 2) 交配組合せ
九系 330(母)×九系 11084-2(父)
2015 年交配、2016 年以降、選抜および育成
- 3) 用途 でん粉・焼酎原料用

2. 特性の概要

- 1) いもの形状は楕円形で、皮色は黄白、条溝は微、裂開と皮脈は無、いもの外観はやや上である。
- 2) 上いも重は、コガネセンガン比で 136%、切干歩合及びでん粉歩留りはコガネセンガンより高い。
- 3) 基腐病抵抗性はやや強と期待され、サツマイモネコブセンチュウに強い。
- 4) 蒸しいもの肉色は淡黄白、食味はやや下である。

表1 生産力検定試験における選抜系統の特性

系統名	植付 株数 (本)	収穫 株数 (株)	上い も重 (kg/a)	切干 歩合 (%)	でん粉 歩留り (%)	上いも 1個重 (g)	いも の 皮色	センチュウ 抵抗性		基腐病 抵抗性	萌 芽 性	貯 蔵 性	蒸しいも					でん粉 白度	
								ネコブ	ネグサレ				肉 色	肉 質	纖 維	総 合	黒 変		食 味
九州203号	144	143	490	38.8	26.5	277	黄白	強	やや弱 (やや強)	良	中	淡黄白	中	やや少	やや不良	中	やや下	88.7	
コガネセンガン	144	144	362	35.0	23.5	182	黄白	やや弱	弱	やや弱	良	中	淡黄	中	やや少	やや良	中	やや上	86.7
シロユタカ	144	139	415	38.2	26.3	243	白	強	弱	中	中	難	白	やや粉	少	中	やや多	中	89.8

基腐病抵抗性のカッコ内のデータは、反復数の少ないデータ

○九州 206 号(令和 4 年度新規)

1. 来歴

- 1) 系統名 九系 376、九系 17227-5
- 2) 交配組合せ
九系 341(母)×オリジンルビー(父)
2016 年交配、2017 年以降、選抜および育成
- 3) 用途 加工原料用

2. 特性の概要

- 1) いもの肉色は紫赤であり、既存の紫肉品種と異なる。いもの外観はやや上である。
- 2) 上いも重は 382kg/a であり、アヤマラサキ比で 118%と多収である。
切干歩合はアヤマラサキやコガネセガンより低い。
- 3) サツマイモネコブセンチュウ抵抗性はやや強、ミナミネグサレセンチュウ抵抗性は強である。
- 4) 蒸しいもの肉色は紫赤、食味は中である。

表1. 生産力検定予備試験における選抜系統の特性

系統名	上いも重 (kg/a)	同標 準比 (%)	切干 歩合 (%)	上いも 1個重 (g)	1株 上い も数	いも			センチュウ抵抗性		蒸しいも		
						皮色	肉色	外観	ネコブ	ネグサレ	肉色	食味	総合
九系376	382	118	32.5	283	3.6	紫赤	紫赤	やや上	やや強	強	紫赤	中	中
アヤマラサキ	325	100	35.3	136	6.4	紫	紫	中	中	中	紫	やや下	中
コガネセガン	333	102	35.5	174	5.2	黄白	黄	中	やや弱	やや弱	黄	やや上	やや良